

責任世代として、安心の未来を切り拓く!

3つのビジョン—西山のぶまさの挑戦

① Support 支援

子育てしやすい、
高齢になっても
安心のまちづくり

- 教育・子ども医療など負担の軽減、男性の育児・家事支援など、子どもまんなか社会の実現。
- 認知症支援、健康増進、在宅生活を支える仕組みの充実など、安心の人生100年時代へ。
- アクティブシニアの取り組み推進、情報格差(デジタルデバйд)対策など、高齢者の元気を応援。



② Passion 情熱

「誰一人取り残さない」
まちづくり



- バリアフリー、障がい者の活躍の場の拡大など、誰もがいきいきと輝く社会へ。
- 社会的孤立、子どもの貧困、ヤングケアラーなど、さまざまな困難に徹して寄り添う社会へ。
- ハード・ソフト両面の防災・減災対策、命を守るインフラ整備で災害に強いまちづくり。

③ View 展望

下京区の
新たな魅力を輝かせる

- 文化芸術都市・京都のシンボルゾーンとしてのまちづくりを強力に推進。
- ものづくり・アート・食など、京都の強みを活かしたクリエイティブタウン化を推進。
- 歩いて楽しいまちなか、高瀬川の自然環境充実など、住み心地の良いまちづくり。



自分らしく輝ける京都・下京へ!

徹して現場に飛び込む西山



愛用の自転車で区内をくまなく巡回。街角相談や御用聞きをはじめ、市民相談を受けてきた件数は、どの議員にも引けを取りません。「あなたの声に、一生懸命。」応えようと奮闘する西山は頼れる存在です。

みなさまの声を実現!

—西山のぶまさの実績(一部)—

- 劣化した標識を一斉修繕
- マイ・タイムラインの導入
- 新入学学用品費を入学前に支給
- 予防接種の再接種費用を助成
- わかりやすい情報提供を推進



西山が確認した劣化標識は区内103地点に及ぶ



西山のぶまさは、こんな人!

● 困難に負けないたくましさ

生まれながら右手に障がいもち、母子家庭に育った西山。「誰一人取り残さない」社会への想い、困難にも屈しないたくましさは、幼少期に培われました。



● 寄り添いつづける誠実さ

関西大学卒業後、京田辺市役所に入庁。高齢者や障がい者福祉の最前線などで約20年働いてきた西山。市議員時代も心を砕いてきたのは、市民に寄り添いつづけることでした。



● 地域をまもる信念と熱意

大学時代から、草の根の平和運動や地域の安全を守る活動に情熱を注いできた西山。安心・安全のまちづくりへ、市民の声に応えようと日々走り回っています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
西山のぶまさはSDGs達成を支えます。

西山

前京都市
市
会議員

にし
やま

のぶまさ

ごあいさつ

ここ京都において公明党は、生活防衛、教育、福祉、防災などあらゆる分野で、皆様一人一人に寄り添う政策を実現してきました。

京都のため、地域のために、府民・市民の皆様の声をしっかり受け止め、国・府・市が連携し課題解決に全力で取り組んでまいります。

プロフィール

公明党京都府本部青年局長・下京支部長
行政書士・防災士・FJK(ファザーリング・ジャパン関西)会員。
1973年1月 京都生まれ。合指症で今も右手に障がいを持つ。関西大学法学部卒業。
京田辺市役所に約20年勤務。前京都市会議員(1期)。2019年4月、2期目に挑戦し
3,424票いただくも6票差で惜敗。妻と1女の3人家族。趣味は料理、カラオケ。

WEB サイト 西山のぶまさ
nishiyama-massugu.net

検索 公式 LINE
ご登録ください



物価高から

府民市民の生活を 守り抜く!

国・府・市のネットワーク政党・公明党だから実現できる

昨年から続く物価高騰。公明党は、できる限り家計の負担を減らすため、国・府・市の強力なネットワークを活かし、具体的な結果を出してきました。公明党は生活を圧迫する物価高から府民・市民の皆様を守り抜いていきます。

電気・ガス・燃料費の負担を軽減

9か月総額
約45,000円

本年1月使用分の電気・ガス代から、標準的な家庭で毎月「約3,700円」が値引きされます(軽減額は請求書等に明示)。当初、電気代のみが対象予定でしたが、山口公明党代表がガス代も加えるよう政府に直談判し決定。ガソリン・灯油などの価格を低く抑える補助金も継続が決定されました。

☆朝日新聞「評価する70%」(昨年12月調査)。

☆産経新聞「負担軽減策の効果でインフレが抑制され…上昇率のピークは1月分になる可能性が高い」

- 府市協調により実現!
- 小学生までの通院自己負担額を政令市トップレベルまで大幅に削減!

	就学前		小学生	中学生
	0~2歳	3~6歳		
入院	1医療機関 200円/月			
通院	1医療機関 200円/月	1,500円/月		1,500円/月
		1医療機関 200円/月		

<京都市の場合>

生活を守る政策を全力で推進

- 物価高の影響が特に大きい住民税非課税世帯などに5万円を緊急支援。
- 出産育児一時金を50万へ増額(本年4月)。自治体が10万円相当のクーポン等を給付する新制度がスタート。
- 物価高を超える賃上げを目指し、中小企業を支援。「業務改善助成金」の上限引き上げや対象経費を拡大。

京都府 子どもの通院医療費 月200円を「小6」まで拡充

京都府が実施している子どもの通院医療費を月200円に抑える助成制度。現在の対象は「3歳未満」ですが、公明党の主張が実り、本年秋から「小学6年以下」まで拡充することが決まりました。

1月以降の負担軽減策

※標準的な世帯の場合

電気代
家庭向けで1ヶ月7時間7円補助
月2800円程度軽減
※月400kWh使用の場合

都市ガス代
1立方メートル30円補助
月900円程度軽減
※月30立方メートル使用の場合

ガソリン・灯油代
1%当たりの補助額を調整しつつ継続

1月~9月使用分で
総額4万5000円軽減

経済的負担の軽減

妊娠・出産で
計10万円
相当※

出産育児
一時金
50万円に

※育児用品の購入や産前産後ケアサービスなどにご利用



子育て家庭

公明党の実績

公明党のモットーは「現場第一主義」です。現場の最前線を歩き、皆様の声を政治に届けてきました。これからも公明党は、生活者目線で京都の皆様のために全力で働きます。

「皆様の声をカタチにしました!」



京都での実績の一部を紹介します

防災・減災

◆京都各地の防災・減災対策を拡充

台風や大雨などに備え治水・水害対策を推進。土砂崩れやがけ崩れの防止対策も拡充

◆一人ひとりの防災行動計画「マイ・タイムライン」の導入

災害時にとるべき行動をあらかじめ決めておく「マイ・タイムライン」の作成を支援

◆ペットの防災対策を推進

いざという時に大切なペットも安全・適切に避難できるようにペット同行の避難訓練を実施



健康・医療

◆認知症対策の拡充

「認知症疾患医療センター」を府内3箇所から9箇所へ拡充。認知症の人や家族の不安に寄り添い必要な支援を行う「認知症リンクワーカー」の京都全域への配置も実現

◆「きょうと新型コロナ後遺症相談ダイヤル」を設置

後遺症に苦しむ方の悩みや不安にいつでも対応
電話:075-414-5338(24時間365日対応)

◆「救急安心センターきょうと(＃7119)」の導入

急な病気やけがで救急車を呼ぶかどうか迷った時の相談窓口

(24時間365日対応)

救急車を呼ぶ? 病院へ行く? 様子を見る? 「急な病気やけが」で迷ったら

救急の電話相談窓口

救急安心センターきょうと
24時間365日

・看護士がアドバイス
・医師も対応
・全年齢で相談可

電話:075-414-5338

#7119

京都市財政の 破綻危機にストップ!

財政危機に直面する京都市。公明党は、京都市の再生・発展へ、持続可能な財政を確立し、市民生活を守り抜いてまいります。

再生・発展へ
全力。

行財政改革の実行で、 着実に財政が改善!

人口減少が進む中、歳出の見直しは必須。公明党は、京都市の「行財政改革計画」策定をリード。特に2021年度から3年間で「集中改革期間」に設定し、人件費削減や事業見直しなど、徹底した改革に取り組みました。

結果、昨年度は447億円の収支改善を達成。懸案であった公債償還基金※は、当初目標を大きく上回る1400億円確保の見込みが立ちました。今やV字回復への道筋が見えてきています。

※公債償還基金: 将来の借金返済のための積み立て。底をつく「財政再生団体」への危機が深まる。



成長戦略で収入増を!

財政再建のカギを握るのは、「いかに収入を増やすか」です。公明党は、新たな税財源となる宿泊税創設や、ふるさと納税の充実を推進。京都の地域経済を押し上げる「新たな成長戦略」の策定を強く求めてきました。

今後、企業誘致促進による雇用創出や、文化・芸術の振興、DX(デジタルトランスフォーメーション)等の推進で、一般財源収入の400億円増を目標に京都経済の活性化を図ります。

地下鉄の運賃値上げを見送り!

コロナ禍で観光客が減少し、大打撃を受けた地下鉄。2年後に運賃値上げをせざるを得ない状況に追い込まれましたが、国が支援拡充を決定。値上げが見送りになりました。

これは、自公政権のもと、国と地方の強力な連携で実現したものの。門川市長は、「自民党や公明党の議員とともに積極果敢に国に要望したことが値上げ回避につながった」(1/26京都新聞)と語っています。